びえいの議会

No.285
令和４年11月１日
■発行／美瑛町議会　■編集／議会報特別委員会

～雨の中、丘を駆け抜ける～
9/23　第13回丘のまちセンチュリーライド

一般質問が議員別に視聴できます!!

各議員の一般質問がＱＲコードから簡単に視聴できます。

くわしくは17ページをご覧ください。

第５回　定例会（９月１２日～１３日）

一般質問に6名の議員登壇　……２～11
議案の審議 ……12～17
議員レポート……18～19
議会日誌・編集後記 ……20

この広報誌は、再生紙を使用しています。

第５回定例会

令和４年第５回定例会が、９月12日から13日の会期で開かれました。

12日は６名の議員から町長、教育長に対して一般質問が行われました。

13日は条例の一部改正、令和４年度各会計補正予算、教育委員会教育長の任命などが審議され、原案のとおり可決となりました。

また、令和３年度一般会計ほか７会計の決算の認定について、決算審査特別委員会へ審査が付託されました。

町政を問う

一般質問

青田知史 議員
- ①美瑛版デジタル田園都市構想の取り組みについて
- ②SNSを更に町政に活かす考えは
- ③マイナンバーカードの普及促進策は

野村祐司 議員
- 美瑛・芦別道路の早期開通に係る産業振興について

穂積　力 議員
- ①青い池遊歩道整備について
- ②下宇莫別町営墓地の使用について

中村倶和 議員
- 経済支援と経済構造の強化等について

桑谷　覺 議員
- 今シーズンの冬の生活が快適に過ごせる除排雪体制について

八木幹男 議員
- ①美瑛町観光マスタープランが示す観光のあり方について
- ②人口動向から読み解く少子高齢化対策について

質問❶ 美瑛版デジタル田園都市構想の取り組みについて

青田　知史議員

地方からデジタルの実装を進め、新たな変革の波を起こし、地方と都市の差を縮めていくことで、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」。

その構想の具体化と実現を図り、デジタル実装を通じた地方活性化を推進するため、内閣総理大臣を議長とする「デジタル田園都市国家構想実現会議」が昨年11月に設置されました。

総務省でも推進本部が設置され、総額５．７兆円を投じるとの報道もありました。

自治体と民間企業の連携が進められている情報も聞きます。

美瑛町の自然豊かな環境と美しい風景、旭川空港が至近である利便性を備えた価値を生かし、関係人口を拡大し、「心豊かな暮らし」と「持続可能な環境・社会・経済」を実現するための取り組みを期待し、次の点について伺います。

①公民連携の現状と今後の進め方について。

②※1スマートシティの取り組みについて。

③※2FTTH世帯普及率99．９％に向けての取り組みについて。

④防災無線に代わる新たな情報伝達ツールについて。

回答❶ 地域課題解決のために取り組みを推進していく

角和町長答弁

持続可能なまちづくりが求められている中で、「デジタル田園都市国家構想」などを活用し、デジタル技術により地域や社会の課題を解決するデジタル・トランスフォーメーション（DX）を推進していきます。

①地域課題の解決に向けて協力をいただいている企業や自治体DXの課題抽出を実証実験的に行っている研究所との連携は進んでおり、それぞれの局面においてデジタル技術を活用した取り組みが始まっています。今後も、本町と企業の双方に有益な連携協定や住民サービス向上につながる提案事業などについて、積極的に取り組んでいきます。

②町立病院でのオンライン診療、LINEによる情報発信、電子地域通貨など様々な取り組みを展開しています。

まちの課題をしっかりと認識し、町民サービスの向

※1 スマートシティ：ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）の高度化により、都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域。

※2 FTTH：ファイバー・トゥ・ザ・ホーム（Fiber To The Home）の略称。光ファイバーケーブルにより高速で安定した通信環境を構築する、家庭向けのブロードバンド回線サービスのこと。

上という目的を明確にした中で、持続可能なまちづくりを進めていきます。

③光ファイバー網は町域の居住エリアすべてに整備しています。令和４年６月末時点のインターネットの加入率は、４８１１世帯中２６４１件、法人も含めて約54％となっています。必要に応じて増設工事を実施し、光回線が利用できるよう随時対応しています。

④現在の防災行政無線は、デジタル同報系に整備を実施しました。また、令和３年度からは、美瑛町ＬＩＮＥ公式アカウントの運用を開始しており、防災行政無線と併用して町民の皆さまに情報発信を行っています。今後は、どのような情報伝達ツールの運用が効果的であるかを検証しつつ、検討していきます。

質問② SNSを更に町政に活かす考えは

スマートフォンやタブレット端末の保有率は、増加傾向で推移し、インターネットの普及やＩＣＴの発展により、日常生活の中で情報発信のデジタル化が大きく進展しました。

今やＳＮＳ(ソーシャルネットワークサービス)等の利用があらゆる世代で浸透しつつあると認識しています。

さて、省庁や自治体では利用者や住民に向けて、業務に対しての理解を深めてもらい、また利便性向上を目的に、様々な情報をＳＮＳで発信するようになりました。

多くの企業でもＳＮＳを活用し、企業イメージやブランド力向上につなげています。

本町においても、ＳＮＳを更に町政に活かすことが必要だとの思いから、次の点について伺います。

①Ｙｏｕ Ｔｕｂｅを活用した※シティプロモーション等の取り組みの現状と今後の課題は。

②Ｔｗｉｔｔｅｒを活用した情報伝達の取り組みの必要性は。

③住民生活の利便性向上に資する自治体アプリ導入の考えは。

④児童・生徒に対するいじめの相談体制構築のためのＬＩＮＥ等の活用の考えは。

回答② 今後も様々な手法を検討し活用していく

角和町長答弁

インターネットを利用したデジタル情報の活用は、今や生活インフラの一部となっています。

①現在、公式チャンネルを開設し、観光情報や移住定住に関する情報などの動画を配信しています。今後は、地域おこし協力隊などによるデジタル人材を登用し、本町の魅力を十分に発信できるコンテンツの作成に努めていきます。

②現行のコンテンツの充実と機能拡充を行い、情報伝達の効率化を進めることが有効と判断しており、Ｔｗｉｔｔｅｒの活用については、発信する情報内容等を含め、情勢を見極めながら検討していきます。

③既成アプリの機能を有効に活用することで、町民の利便性の向上が実現できると考えています。また、町独自のサービス提供が必要となることも想定されますので、必要に応じて検討していきます。

千葉教育長答弁

④各小中学校では、いじめ等に関する相談窓口の周知や、アンケート調査を実施したりして、いじめ等の把握に努めています。

本年５月から道教委は、児童生徒が、ホームページからいじめを含む、学校生活・家庭生活での不安や悩みを相談し、その内容を関係者で速やかに共有できる「おなやみポスト」を設置しました。本町では、更なる相談体制の向上のため、児童生徒一人一台端末から「おなやみポスト」につながるよう設定しており、当面はこのシステムの活用を考えています。

今後も、様々な手法を活用し、子どもの発する小さなサインや些細な兆候を見逃さず、早期に発見し、早期に解決することができるよう、子どもたちが相談しやすい体制の整備に努めていきます。

美瑛町公式 YouTube チャンネルでは、移住情報や職員採用情報など随時配信している

※ シティプロモーション：各自治体が実施する地域のイメージ向上やブランド確立のための宣伝・広報・営業活動のこと。

質問③ マイナンバーカードの普及促進策は

本年7月、総務省はマイナンバーカードの住民の取得率が、平均未満の約630自治体を「重点的フォローアップ対象団体」に指定し、美瑛町もその指定を受けました。

同省は来年度から、取得率に応じて地方交付税の配分額に格差をつける方針を6月に表明しているため、その影響も考慮しつつ町民のマイナンバーカードの取得推進を進める必要があると認識しています。

マイナポイント第2弾もスタートし、最大2万円相当のポイントがもらえることで、町民の取得促進にも相応の効果があると思っています。

令和2年第6回定例会の私の一般質問「マイナンバーカードの普及促進と利活用の考え方について」に対して、町長は「更なる周知と申請に当たっての支援に努める」と答弁していました。

その後の取り組みを検証し、取得率向上につなげるために次の点について伺います。

①取得率が平均以下となった理由についてどのように考えているか。

②令和4年度末の目標交付率達成のためにどのような取り組みを進めるか。

マイナンバーカードを取得するメリットの発信や申請サポート体制の充実により取得率向上を図る（総務省公式ホームページより）

回答③ サポート体制の充実を図り申請件数の増加につなげる

角和町長答弁

国は、令和4年度末までにほぼすべての国民にマイナンバーカードが行き渡ることを目標に掲げており、目標達成のために重点的フォローアップ対象団体の指定を始めました。6月末の重点的フォローアップ対象団体となる要件については、町村は交付枚数率40.8％未満かつ前月からの伸び率が0.5％未満の団体としているため、本町も該当となりました。7月末には対象要件が一部変更となり、町村は申請件数率44.38％未満かつ前月からの伸び率が1.31％未満の団体が該当となりました。これにより、全国で半数以上の963団体が該当となっており、本町も再度該当となっています。

①6月末時点のマイナンバーカードの交付率は、全国平均が45.3％、北海道平均が42.1％、本町は37.5％と平均以下となっています。理由としては、取得するメリットや今後拡大が想定される活用法などが伝わりきっていない点と交付されるまでの申請手続に時間が掛かる点だと分析しています。

②マイナンバーカードを取得するメリット等を更に発信し、申請手続のサポートや交付窓口の拡充が必要だと考えています。

このため、8月20日、21日の休日に役場庁舎に臨時窓口を開設し、マイナンバーカードの交付や申請サポート、マイナポイントの付与サポートを実施したところです。

今後についても、9月に休日開庁を実施するほか、平日におきましてもマイナンバーカードの申請をサポートすることで申請件数の増加を図っていきます。

質問は要約されています

紙面の都合上、質問・答弁の内容を要約して載せています。
また、通告順（一般質問を行った順番）と異なる場合があります。

今号から議員別の一般質問の視聴ができます。
各議員名の下のQRコードからご覧ください。

質問

美瑛・芦別道路の早期開通に係る産業振興について

野村　祐司議員

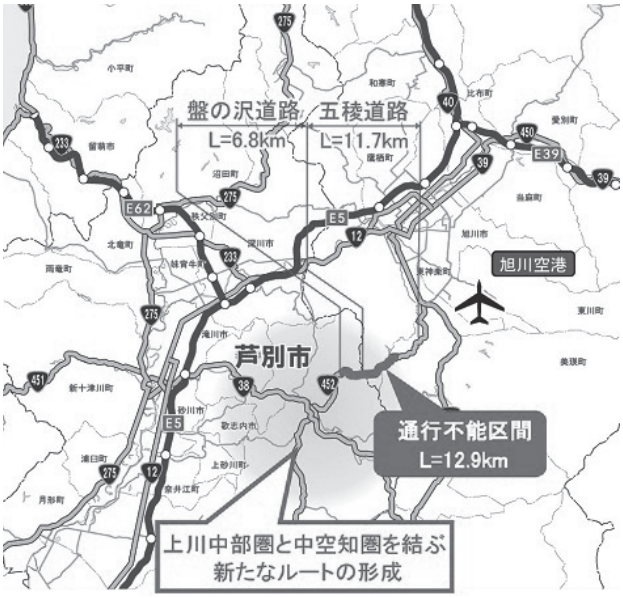
産業の消費需要や公共事業など町内で発生する財貨、サービスの需要総額は693億円で、町内需要に対して町内産業によって供給される額は307億円で、町内需要に対する町内供給額の割合が自給率で示され、44．3％と報告されています。自給率が高くなるほど町内産業が活発であることの裏返しであり、国や地方自治体の積極策が求められるところですが、これらを補完する交通・運輸にする対応について伺うものです。

旭地区から五稜を経由して芦別に至る国道452号ですが、美瑛町側の工事進捗率は90％超えとされており、五稜道路の18．5ｋｍが未開通です。次の点について伺います。

①令和4年度旭川開発建設部管内事業概要では、五稜道路の不通区間の解消を公表していますが、現時点での執行状況について。

②観光振興・産業の活性化に関連するこのルートの早期開通に向けた町長の考えについて。

③建設整備に向け、4市2町による期成会を構成していますが、要望事項に対する国の対応について。



地域間の物流、産業経済の活性化、災害時の輸送網確保等に向け、早期開通が望まれる国道452号線（国土交通省北海道開発局 旭川開発建設部公式ホームページより）

回答

関係市町・機関と協力し、要望活動を推進

角和町長答弁

一般国道452号については、旭川市を起点とし、美瑛町、芦別市などを経由して夕張市に至る計画延長123．2ｋｍの路線であり、道北地域と道央地域の連絡機能の強化を図り、地域間の物流、観光等の産業経済の連携・活性化、災害時の輸送網確保、医療の広域化など、大きな役割が期待されていますが、一部に未開通区間があることから、本町を含む関係4市2町で建設促進期成会を組織し、早期開通に向けた活動を展開しているところです。

①令和4年3月31日現在における未開通区間は、12．9ｋｍであり、そのうち旭川開発建設部が所管する美瑛町側の五稜道路の未開通区間は、6．1ｋｍとなっています。令和4年度は、芦別市側の盤の沢道路部分のトンネル工事、道路設計及び道路改良工事と、五稜道路の測量設計及び道路改良工事が予定されています。

②引き続き建設促進期成会の構成市町や関係機関と連携協力し、早期の開通に向けた取り組みを強く推し進めていきたいと考えています。

③建設促進期成会において、北海道開発局等の関係機関や国土交通省等の関係省庁、北海道内選出の国会議員に対して、「北海道及び沿線地域の産業と経済の発展を担う重要な基幹道路となることから、未開通区間の全線開通に向けた建設促進」との要望活動を毎年度実施し、令和4年度は、盤の沢道路及び五稜道路のトンネル工事、道路改良工事等で29億7千万円の予算が計上されています。

今後においても、関係市町及び関係機関と協力し、要望活動等を推進していきます。

質問 ❶

青い池遊歩道整備について

穂積　力議員

コロナ禍において観光客が激減した中、現在は行動制限もなくなり、青い池にも多くの観光客が戻って来ています。昨年と違い今年は雨も多く、青い池の遊歩道には水たまりがたくさんできています。

6月末に、ある町民からこの水たまりに関する指摘を受け、役場へ電話しましたが、その1か月後に改善されていないと再度連絡があり、私も現場を確認しました。当然、何日か経てば水たまりはなくなりますが、その間、水たまりを避けて歩く道幅のないところや、靴に水が入るような遊歩道は好ましくありません。8月23日現在、水たまりはありませんが、未だ何の改善もなされていません。

観光地の魅力に加え、美瑛に来てくれる観光客を町民皆が大切にしている、だからこそたくさんの人が美瑛に来ていると思います。

そこで、青い池の遊歩道を早急に補修すべきだと思います。砂利や砂などを入れなくても少しの溝を掘るだけで済むことだと考えますが、町長の考えを伺います。

回答 ❶

柔軟かつ迅速な対応をしていく

角和町長答弁

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が収束しない中、白金青い池には、北海道内外から多くの観光客がお越しいただいているところです。

青い池通路については、多くの観光客の往来による立木の露根などで地面に凹みが生じ、雨水が溜まりやすい状況となっていることは認識しています。一方、この通路部分は、国及び北海道が管轄する砂防施設であり、修繕管理は国、北海道が実施しているところです。これまでも危険か所の改善など青い池の環境整備については、関係機関との連携と情報共有を密に進めて、積極的な対応をいただいています。

権限のない本町が土地の形状を変更する行為を行うには、様々な許認可が必要となりますので、旭川開発建設部旭川河川事務所に対し、通路を含めた施設周辺の整備を要望しています。ただ、清掃管理などは町が行っているところであり、改善か所の状況に応じては、柔軟かつ迅速な対応を心掛け、今後とも白金青い池を訪れる観光客の利便性の向上を図っていきます。

雨が降る度に遊歩道には複数の水たまりができ、歩きにくい状態に

質問②　下宇莫別町営墓地の使用について

近年墓じまいをされる話をよく聞きますが、そのような中、町では希望する区画の使用を許可してくれないと問合せがあり、私が担当課に尋ねたところ、募集対象の区画以外は決まりでできないとのことでした。

問合せをしてきた方が希望する区画は、実家の墓に隣接した空いている区画で、そこが良いとのことでした。

決まりは理解できますが、今回の様なケース等、事情によっては柔軟に対応すべきと考えますが、町長の考えを伺います。

回答②　受付方法等を検討

角和町長答弁

下宇莫別町営墓地については、現在、平成21年度に造成した7区と平成2年度から平成3年度に造成した5区及び6区について、美瑛町墓地の設置及び管理に関する条例に基づき、焼骨の埋蔵及びこれに伴う墓碑の建設について、使用を許可しているところです。

近年、お墓を管理する子どもや親族がいないことなどから墓じまいをされる方が増えており、古い区画についても返還された墓地が出てきています。しかし、平成2年度より以前に造成された区画については、いわゆる土葬により供養されていた場所が多数あります。このため、区画の返還を受けて未使用になっている墓地であっても、前後の使用者の心情的な観点から、再募集は見合わせているところです。ただ、土葬ではないと確認ができている区画もございます。そのような区画は御利用に支障はないと思いますので、柔軟に対応ができるよう受付方法等の在り方について検討していきます。

現在7区画ある下宇莫別町営墓地

議会の開催について

次回定例会は、12月15日（木）、16日（金）を予定しています。

時間：いずれも午前９時30分から　　場所：役場４階　議場

議会の傍聴は、議場前の用紙に住所、氏名などを記入するだけの簡単な手続きです。
※新型コロナウイルス感染の拡大防止及び感染予防のため、マスクを着用し、傍聴受付に備え付けのアルコール消毒液で手指消毒のうえ、議場にお入りいただきますようにご協力をお願いいたします。

質問

経済支援と経済構造の強化等について

中村　倶和議員

２０２０年春以降、コロナ禍によって全世界は大打撃を被りました。

こうしたコロナ禍に加え、消費税や円安による食料品、石油製品はじめあらゆる物価の高騰は、更なる大きな打撃となりました。

さて、行政が一番に取り組まなくてはならない仕事は、町民の暮らしを守り、明るい未来につなげていくことです。町長は、３年前の選挙公約の中で「しあわせなまちづくり」と「未来につなぐまちづくり」を掲げました。

そこで、次の点について伺います。

①コロナ禍による経済の停滞をどのように認識しているか。

②コロナ禍にある町民の生活実態を把握しているか。

③２０２０年春以降行ってきた町独自の生活支援をどのように自己評価しているか。

④今後町民への生活支援をどのような形で行っていくか考えか。

⑤２次産業をはじめとして経済構造の強化及び起業支援に向けてどのような政策を考えているか。

次年度に向け、既存の起業支援である「商店街活性事業」と「起業支援事業」の補助対象経費、補助率、補助限度額の見直しなどを検討

回答

新たな施策の展開を行い総合的な検討を進める

角和町長答弁

新型コロナの全国的な拡大や生活必需品の価格の高騰などが日本経済に影を落としています。

①観光入込が少しずつ回復傾向にあるものの、未だ停滞しています。一方で、新規開業や起業があるなど、厳しい情勢にあっても投資的、発展的な力強い動きが見られます。今後も、町内経済の安定に向けて必要な対策を講じていきます。

②これまでも、把握に努めているところです。生活保護など日常の窓口の相談業務をはじめ、かみかわ生活あんしんセンターや美瑛町社会福祉協議会が行っている融資件数の動向、臨時特別給付金の対象となる家計急変世帯数などを通して、町民の生活実態の変化を継続的に調べています。

③新型コロナに感染された方などへの物資支援や低所得世帯への経済的援助などを町独自で行うことで、健康維持と生活安定に努めてきました。長期的な自粛生活により御不便な生活が続いていますが、日常的な生活に近づけるよう取り組んできたことは有益だったと考えています。

④新型コロナ対策、物価高騰対策について、これまでの取り組みを基本に安定した生活が送れるよう、状況の変化に応じた的確かつ効果のある生活支援を今後とも検討していきます。

⑤「商店街活性化事業」と「起業支援事業」があります。次年度に向け補助対象経費や補助率、補助限度額の見直しなどの検討を始めたところです。また、「事業承継」など、町内ニーズの把握とともに、経済構造の強化につながる新たな施策の展開について、総合的な検討を進めていきます。

質問

今シーズンの冬の生活が快適に過ごせる除排雪体制について

桑谷　覺議員

今シーズンも町民や観光客が快適に冬の生活が送れるよう、次の点について伺います。

①市街地の幹線道路の除雪や補助幹線、特に道幅の狭い道路などで、緊急車両通行可能な小まめな除雪体制が求められるが、今年の体制はどのように考えているか。

②排雪時のダンプ台数確保については、単価が高い国・北海道の除排雪に先約され厳しいと聞いているが、必要台数を確保する上で単価の見直しなど考えているか。

③資材高騰が続く中、特に燃料の高騰は、直接除排雪作業に大きく影響してくるが、契約の履行が大前提の中、柔軟な対応の考えは。

④排雪を効率的に進めるため、一部を郊外ではなく、近くの公園、広場に捨てる等、ダンプの配送時間を減らすため、行政区・町内会の協力を得る協議を進めては。

⑤本通りの管理されていない敷地前は雪が放置され、特に、車道除雪後路側帯にそのままの状態で放置され、交通安全上危険な状態であり、道路管理者の北海道と管理体制の抜本的な見直しの検討を進めては。

回答

今後も効率的な除排雪作業について検討を進める

角和町長答弁

冬期間の除排雪対策事業は、道路交通環境を確保する上で大変重要な事業であり、その実施に当たっては、道路状況や気象状況を確認し、関係機関等とも連携の上、冬期の安全な道路交通環境の確保に努めています。

①本年度も降雪の状況を確認し、特に生命に関わる緊急車両の通行、通勤や通学に支障の出ないよう適切な除雪体制で対応していきます。

②国が公表する単価を使用し、排雪作業単価を設定しています。また、地域内のダンプトラックの台数も限られていることから、国や北海道の排雪作業の予定を確認し、道路の堆雪状況に応じて計画的に進めていきます。

③除排雪業務委託契約に基づき進めることが前提ですが、特別な要因によって業務の実施に支障が出るほど費用の変動が生じるなど、契約額が不適当となった場合は、受託者と協議し対応いたします。

④市街地内の公園や広場の活用については、ロータリー車により直接除排雪ができる場所では公園内等に投雪しています。ただし、ダンプトラックにより運搬する場合については、搬入路の確保や融雪時の処理等に不向きなことから、雪捨て場として活用することは難しい点があると認識していますが、今後も効率的な除排雪作業について検討を進めていきます。

⑤空き地等の地先の除雪後に路側帯に堆雪されたままになっている場所がありますが、その対応については、本通り地区流雪溝運用維持管理業務の中で堆雪状況により随時投雪しています。今後も、必要に応じて北海道と協議をしながら、安全な道路交通環境の確保に努めていきます。

排雪時のダンプトラックは北海道の排雪作業予定を確認しながら必要台数を確保している

質問 1

美瑛町観光マスタープランが示す観光のあり方について

八木　幹男議員

美瑛町観光マスタープラン2020（以下「プラン2020」という。）では、「観光は地域活性化の手段であって目的ではありません。重要なことは観光を振興することではなく、観光に『よって』町の経済を振興し、町民のみなさんがくらしやすい町を実現することなのです。」と明記されています。

しかし、美瑛町観光マスタープラン2027（以下「プラン2027」という。）では、指標（※1KGI）とした「町民の観光理解度を対2017年度で10ポイント向上する」という点の考察がなされていません。

プラン2020、プラン2027の内容を踏まえ次の点を町長に伺います。

①「町民の観光理解度」（KGI）という視点をどう捉えているのでしょうか。

②「農地を訪れる際のルールの認知度を80％まで上昇させる」（※2KPI）という指標をどう見ているのでしょうか。

③22のプロジェクトで、直近の取り組むべき事業をどのように考えているのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症の対策等、新たな概念を追加し、内容の見直しを行った美瑛町観光マスタープラン2027（マスタープランは町公式ホームページに掲載されています）

回答 1

観光政策の構築と効果的な業務遂行が重要

角和町長答弁

美瑛町観光マスタープランは、平成29年度に策定し、令和9年度に達成する目標とそのためのプロジェクトについて定めています。

策定時に無かったSDGsやカーボンニュートラル社会への対応、新型コロナウイルス感染症等の対策といった新たな概念を追加し、内容の見直しを行っています。

①町民の観光理解度について、14．5％から令和9年度までに10ポイント向上を目標としていますが、昨年行った結果では、新型コロナウイルス感染症の拡大を懸念する回答が増加したため、14．1％の微減となりました。町民の観光理解度は、農業と観光の連携や魅力ある観光目的地として重要な指標と考えていますので、観光理解度の向上に向けた取り組みを進めています。

②マスタープラン作成時の動態調査において、農地を訪れる際のルールについて「知っている」と回答された方が約60％と低調であったことから、達成目標を80％に設定したところです。観光客数が大幅に減少した現在も、農地への無断侵入やゴミの投棄等が発生していることから、SNS等を活用した情報発信やパトロール活動の強化などを進めていきます。

③更なるプロジェクトの推進を図るためには、観光政策の協議体制の構築と効果的な業務遂行が重要だと考えています。現在、観光振興条例（仮称）の策定に向けた検討や観光協会、活性化協会、物産公社が担う業務の再編を行うことで、様々な施策を効果的に実施できるよう検討を進めているところです。これらを踏まえ、各プロジェクトを推進していきます。

※1　KGI：Key Goal Indicatorの略称。事業の総合的な成果を測定するための指標のこと。
※2　KPI：Key Performance Indicatorの略称。目標指数を達成するために行う各事業の成果に結びつく指標のこと。

質問② 人口動向から読み解く少子高齢化対策について

２０００年から20年間の人口動向（国勢調査と住民基本台帳）を見ていくと、総人口が18．８％減、25歳から39歳の女性人口43．２％減、出生数（１９９６～２０００、２０１６～２０２０年の５年間の年平均で比較）が92人から46人となり半減、一方、高齢化率が26．５％から38．８％の12．３％増、75歳以上の割合も11．５％から22．１％のほぼ倍増となっています。

そこで、次の点を町長に伺います。

①子育て世代への支援における「住」の問題、平屋の町営住宅が必要なのでは。

②若者の移住問題の最大のネックは「職」と考えますが、もっと多様な農業関連での働き方の提案はできないものでしょうか。

③福祉事業現場を支える人たちへの仕事面・メンタル面のサポートは十分行われているのでしょうか。

④高齢者の社会参加への動機づけ・仕組みづくり（ボランティアポイント制等）の状況は。

⑤「誰もがつながれる場づくり」はどのような状況にあるのでしょうか。

健康で長生きするためには無理せず体を動かすことが大事（いきいきセンターで実施している生きがいデイサービス）

回答② 今後の町づくりの大きな課題と認識し対策を講じる

角和町長答弁

少子高齢化については、大きな課題であると認識しているところです。

①本町における人口や世帯構造等の将来推計を基に、新たな公営住宅等の建設を検討する中で、平屋建てのメリット、デメリットについても考察していきます。

②農業関連の働き方としては、選択肢が幅広くありますので、まずは移住者のニーズを明らかにすることや持続的な農業を推進していく上で、多様な人材が求められることから、関係機関との連携を強化していきます。

③福祉事業現場で働く人たちが心身ともに健康であることは重要ですが、コロナ禍では常に感染予防の取り組みを迫られ、精神的な負担は以前より大きくなっています。事業所には、労働安全衛生法に基づく労働者の安全と健康の確保や快適な職場環境の形成促進、あわせて厚生労働省が開設している働く人のメンタルヘルス・ポータルサイトなどの情報周知を進めていきます。

④地域サロン活動や介護予防教室等の福祉に係るボランティア活動に対し、１時間当たり２５０ポイントの「Ｂｅコイン」を令和３年度８人の方に１３３時間分のポイントを付与しています。

⑤「誰もがつながれる場づくり」とは、高齢者だけではなく、子育て世代や障がい者等が地域住民と相互に交流する場としての地域サロンの展開では、令和３年度は延べ10か所、７８１人の参加をいただきました。また、小規模多機能型居宅支援事業所内に設けた喫茶や地域交流室といった場もあります。

ウィズコロナの中で各世代に周知し、地域共生社会を推進するべく関係団体と協議をしていきます。

議会をインターネットで配信しています

町民に開かれた議会を目指し、インターネットによる議会中継を行っています。
中継は生中継のほか録画中継も配信しています。
視聴方法は、YouTube（ユーチューブ）のサイトで「美瑛町議会」と検索し、視聴する映像を選んでください。
皆さんの声がどのようにまちづくりに反映されているのか、ぜひご覧ください。

議案の審議

条例

▼議案第1号　美瑛町議会の議員及び美瑛町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

趣旨　公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、本条例が準用する国会議員の選挙運動の公費負担に係る限度額の基準が改定されたことから、条例の一部を改正するものです。

▼議案第2号　美瑛町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

趣旨　職員の妊娠、出産、育児等と仕事との両立の支援を図るため、国家公務員に係る育児休業等に関する制度の改正に準じ、本町においても非常勤職員の育児休業等に関する取得要件を緩和するため、条例の一部を改正するものです

質疑

▼議案第2号

青田議員

本条例改正後、取得しやすい雇用環境を作るための研修等、どのような体制で運用を考え、また、制度の周知及び意向の確認方法について、どう考えていますか。

今瀧総務課長

職員研修については、制度改正及び運用面について取り組んでいきたいと考えており、意向の確認方法については、これまで行っている対面及びメールの他に良い方法があれば工夫していきたいと考えています。

また、相談体制及び周知については、職員係がその職務を担っており、今回の改正に伴い、更に充実を図っていかなければならないと考えています。

専決処分

▼議案第3号　令和4年度美瑛町一般会計補正予算（第3号）

要旨　令和4年度美瑛町一般会計補正予算（第3号）を地方自治法の規定に基づき専決したので、議会の承認を求めるものです。

美瑛町特別功労者金田英行氏の逝去に伴う弔慰金の追加です。

専決処分年月日

令和4年6月24日

補正予算

▼議案第4号　令和4年度美瑛町一般会計補正予算（第4号）

要旨　まちづくり寄附金の件数増に伴う返礼品等経費の追加、新型コロナウイルスワクチン接種事業の追加、林業機械等購入支援を目的とした林業担い手確保育成支援事業の追加などです。

▼議案第5号　令和4年度美瑛町老人保健施設事業特別会計補正予算（第1号）

要旨　前年度決算の施設運営事業利益のうち、一定額について、基金積立金として追加するものです。

▼議案第6号　令和4年度美瑛町農業研修施設事業特別会計補正予算（第1号）

要旨　農業技術研修センターみのりロビーの暖房器故障に伴う入替工事費の追加です。

▼議案第7号　令和4年度美瑛町水力発電事業特別会計補正予算（第1号）

要旨　水力発電用水車に係る修繕料の追加です。

▼議案第8号　令和4年度美瑛町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

要旨　割当職員1名増員に伴う人件費の追加です。

▼議案第9号　令和4年度美瑛町水道事業会計補正予

質疑

算（第3号）

趣旨　道道十勝岳温泉美瑛線排水管布設替工事に係る北海道の工事内容変更に伴う減額です。

▼議案第4号

青田議員

地域情報通信基盤管理運営事業の光ケーブルの修繕内容について。また、補正の財源は貸付収入による財産収入を計上していますが、他の敷設についても同様の貸付収入が発生しますか。さらに、1社の入札かと思いますが、金額の妥当性について、どのような判断でこの金額を執行しますか。

今瀧総務課長

修繕内容については、倒木による断線若しくは経年劣化による線の張替です。

財源については、両者合意の上でなければ契約破棄が出来ない一般的なＩＲＵ契約であり、町が設置した光ケーブルに関してＮＴＴ東日本が利活用を行い、それに対する賃借料を収入としています。金額の妥当性については、見積書の精査をした上で地方自治法の随意契約の条項に基づき契約締結を行っています。

中村議員

新型コロナウイルスワクチン接種事業について

①ワクチン接種に伴う全国での重篤者の人数は把握していますか。

②札幌市でワクチン接種を取りやめた病院が複数ある中で、本町ではワクチン接種を継続していますが、中止すべきではないですか。

鎌田保健福祉課参事

①全国の重症例の正確な数はお答えできませんが、町内での重症例の報告は上がっていません。

角和町長

②ワクチン接種は法令に基づき、リスクを提示した上で接種を希望される方に実施しているもので、今後ともその環境を整えていきたいと考えています。

坂田議員

妊婦健診事業について、増額していますが何名の妊婦が増えましたか。

鎌田保健福祉課参事

不妊治療に対する補助金の増額であり、妊婦の方の届出が増えたものではありません。

高田議員

木材利用・普及啓発推進事業及び林業担い手確保育成支援事業について

①木材利用に係る60万円の事業内容について。

②事業展開に当たり、森の輪のコンセプトの中で特に森と人、人と人、人と地域がつながって物ができている点を保護者の方々に理解してもらえるようＰＲに努めてもらいたいと思います。

③林業機械等の補助金増額ですが、林業育成に当たっての作業に関わる機械という考え方で良いですか。

吉川農林課長

①ゼロカーボンの取組の一環として、森の輪（わっこ）プロジェクトがあり、この製品に係る木製の輪、巾着袋の製作等の業務委託を考えています。

②今回乳幼児に向けてのファーストウッドを実施し、成長とともに木の特性を理解してもらい、人とのつながりの中で生きられることをＰＲし、推進していきたいと思います。

③大型林業機械と中型林業機械で、育苗機械といった造林造材に係る機械導入に対する支援とご理解ください。

乳幼児が木のぬくもりを感じてもらえるよう願いを込めた森の輪（わっこ）プロジェクト

保田議員

道営事業負担金及び林業担い手確保育成支援事業について

①朗根内南地区の道営事業について、進捗状況及び今後の計画、この他、現在進捗が若干遅延していると思いますが、これにより今後計画されている他地区への影響はありませんか。また、担い手に対する林業機械の整備に係る補助事業の補助要綱の内容、要綱決定の根拠及び近隣の実施状況について。

②担い手確保育成支援事業に関して、参考にした近隣市町村では、既に同様の事業を実施していますか。

吉川農林課長

①進捗状況については、実施設計分を今回の補正で計上しており、令和5年度から工事着手になるかと思います。また、遅延に係る影響については、農業農村整備事業計画により進めていく考えですが、道営事業であることから事業費の確保がない場合等には、事業期間の延長の可能性もあると

考えています。また、担い手への林業機械整備に係る要綱については、事業用機械４００万円以上とそれ以下の機械の２種類に対して補助率２分の１、上限７００万円と２００万円で案を考えています。要綱作成にあたっては、先進地、近隣市町村及び国の補助事業要綱等を参考に作成しています。

②旭川市では既に要綱に基づき補助を行っていると思います。

中村議員

林業担い手確保育成支援事業について

①ベースマシンとなるショベルカーは補助対象となりますか。また、アタッチメントについては機種が指定されたもの、又は申請の都度判断するものですか。

②この事業は、個人事業者も対象にすべきと思いますが、可能ですか。

③補助額の上限について、固定ではなく、運用面で更に引き上げることも可能だと思いますがどう考えますか。

吉川農林課長

①バックホーというベースマシンになりますが、補助対象としています。また、それぞれに合ったアタッチメントが考えられるため、機種は固定せず、申請内容により判断したいと考えています。

②町内に事業所又は営業所を有する林業事業体を対象としていますので、個人の事業体も可能です。

③現段階ではこの形で進めていきたいと思いますが、今後、林業事業体の方とも話を進めながら判断したいと思います。

青田議員

交流推進事業及び各種大会派遣事業について

①関西ふるさと会について、現在の状況、今後の見通し及びどのようなふるさと会を作っていく予定ですか。また、今回還暦野球大会の派遣費用が計上されていますが、大会概要、参加人数及び派遣費用はどのくらいですか。

②関西ふるさと会の今後の展開として、美瑛のファンクラブを作ってやっていくのか、ふるさと会にするのか、はっきりとイメージが出来ていないと事業として齟齬が生じる可能性もあると思いますが、どう考えますか。

髙島商工観光交流課長

①現在の入会希望者は31名で、うち美瑛町出身者は２名ですが、コロナの影響もあり設立に至っていないのが現状です。今後については関係人口の創出事業と合わせて、議論を深めながら設立に向けて進めていきたいと考えています。

山下文化スポーツ課長

①全日本還暦軟式野球選手権大会で、平成30年にも旭川のチームに町民の方が入られており、派遣の支出をしています。今回は全国大会で、チーム30名のうち町民の方１名の参加費用、約９万８０００円の支出を考えています。

角和町長

②東京美瑛会、北海道びえい会のような形は考えにくいと思っており、まずは美瑛に関わりたい、関わっていただきたい個人や企業の方々から緩やかなネットワークを作り、更に深い関わりを持っていきたいと考えています。

桑谷議員

空き家等解体支援事業について

①どのような基準で限度額を決めていますか。

②町内業者の他、町外業者も補助対象になりますか。

平間建設水道課長

①対象金額の２分の１で限度額が40万円で定めています。

②40万円の限度額は町内業者が対象で、町外業者は指名登録願を提出している業者が対象となり、補助率が３分の１、限度額は30万円です。

青田議員

公共下水道事業特別会計繰出金について

①今年の３月に策定した美瑛町公共下水道事業経営戦略との齟齬はないですか。

②経営戦略の収支計画等で人件費の計画の数字が出ていますが、今回の繰り出しで人件費一人分が上乗せになるのではないですか。補正前に計画との変更点について説明があるべきだったと思いますがどう考えますか。

岩佐水道整備室長

①この繰出金については、ルールに基づいて出しているものです。

角和町長

②計画の数字と齟齬が生じていることについてお詫び申し上げます。今後、より丁寧な説明をしていきたいと思います。

▼議案第６号

野村議員

ペレットストーブの更新について、原料そのものは町外のものと思いますが、

なぜペレットなのか、木質チップの不足にはならないのか、ペレットと化石燃料の費用対効果はどのくらい積算していますか。

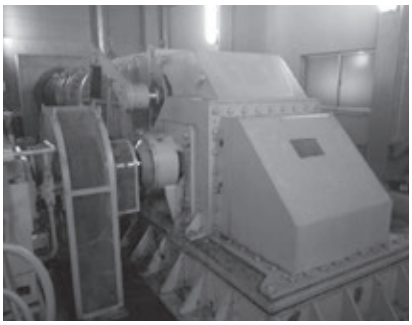
吉川農林課長
　燃料が高騰している中で農業関係者からペレットストーブの導入について問合せがあり、町民の皆さんに実感及び利便性の検討をしていただくため、今回の更新に合わせて試験的にみのりで導入するものです。チップの場合、大規模な施設が必要となるためポータブルのペレットストーブを選定しました。一般的には灯油の10分の1ほどに縮減できるものと聞いています。

▼議案第7号
山本議員
　発電施設施設管理事業の修繕料について、今回壊れるまで、年間の計画発電量に対してどのくらいの発電量がありましたか。また、点検等で発見できなかったのか、再発防止に向けた今後の体制について。

岩佐水道整備室長
　発電量については年間3000万円程の予算を見込んでおり、現段階でほぼクリアしている状況です。修繕については計器の日常点検の中で発見したもので、専門業者に確認し、故障の可能性があったため今回補正するものです。今後、耐用年数を迎える中で、更新も視野に入れながら維持できるよう管理体制を考えていきたいと思います。

中村議員
①発電施設施設管理事業の修繕料について、今回の修繕の発見に至ったベアリングの温度上昇はどの程度上昇し、また、パッキンの交換について、どの程度の歪みだったのですか。さらに、今回の報告を受けて町は運転を続けるよう指示を出したという理解で良いですか。
②継続運転により万が一、重大事故となった場合の責任の所在はどう考えていますか。

岩佐水道整備室長
①通常50度以下で運転しているのが正常な状態ですが、今回一気に温度が上がったものではなく、高い時に57度まで上昇したものです。パッキンについては摩耗したもので、軸自体が破損したものではありません。運転の継続については、専門業者の報告ではすぐに壊れる状況ではないということで、9月末の発電終了まで運転し、その後、修繕を実施する予定です。
②今以上に日々の点検に努め、少しでも変化が起きた際にはすぐに停止する等、対応したいと思います。


水力発電用水車

青田議員
①発電施設施設管理事業について、発電の収入規模が令和3年度で3300万円、一般会計の繰入が3700万円の中で、発電事業を続けていくことのリスクについてどう考えますか。
②経営戦略が必要で、投資をする以上しっかりと見極めた上で、判断していただきたいと思います。

岩佐水道整備室長
①19年が経過している中で、内部検討を続けており、現在高騰している建設費も含め総合的に勘案した中で更なる検討を重ねていきます。

角和町長
②しっかりとした将来設計により事業の継続が判断された際には、更新について議会に情報提供したいと考えています。

▼議案第8号
青田議員
①下水道事業費の人件費について、どのような経緯で増員になったのか、また、経営戦略の計画の中で見込むことはできなかったのですか。
②計画に沿った人員配置を本会計に限らずしっかりと理事者の方には考えていただきたいと思いますが、どう考えますか。

岩佐水道整備室長
①予算時期の段階では人事案件でもあり、予算を立てられる状況ではなかったですが、業務量を見込み、増員を要望した中で4月から一人配置され、これまで当初予算の中で支出していましたが、今回補正するものです。

角和町長
②定年退職者以外で退職する職員が出ていることで、職員数の見込みと差異が生じていることもあるため、実態に即した状況を見越した採用に努め、働きやすい環境づくりに努めたいと思います。

人事

▼議案第10号　教育委員会教育長の任命

趣旨　地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、議会の同意を求めるものです。

住所　丸山1丁目2番17号
氏名　鈴木貴久

▼議案第11号　教育委員会委員の任命

趣旨　地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、議会の同意を求めるものです。

住所　美馬牛北2丁目1番11号
氏名　小野寺晴紀

質疑

中村議員

①任命に当たって、どのように検討しましたか。
②民間人を含めた中で意見を集約し、絞り込んでいくことが大事かと思いますがどう考えますか。

角和町長

①重要な職であり、人格、人柄、職歴、リーダーシップ等を総合的に勘案した中で判断しました。
②様々な点から検討を加えた中で、適任であるという判断の下、提案したものです。

報告

▼報告第1号　令和3年度美瑛町健全化判断比率及び資金不足比率

要旨　地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき、令和3年度美瑛町健全化判断比率及び公営企業に係る資金不足比率について報告するものです。

美瑛町健全化判断比率の状況

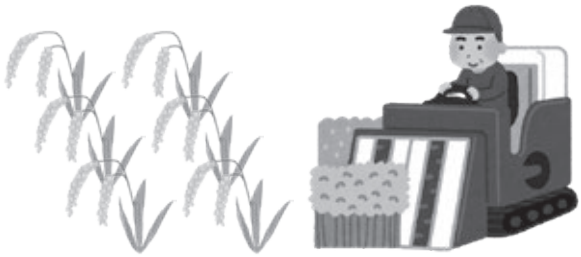
(単位:%)

比率区分	令和3年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	― (黒字)	14.21	20.0
連結実質赤字比率	― (黒字)	19.21	30.0
実質公債費比率	11.6	25.0	35.0
将来負担比率	41.2	350.00	

美瑛町公営企業等会計の資金不足比率の状況

(単位:%)

会計区分	令和3年度	経営健全化基準
水道事業	― (資金不足なし)	20.0
病院事業		
公共下水道事業		
老人保健施設事業		



この広報誌「びえいの議会」は、ホームページでもご覧いただけます。

http://www.town.biei.hokkaido.jp

議会の沿革 | 議会とは | 議会の仕事 | 議会のうごき
議会広報誌「びえいの議会」 | 議会傍聴のすすめ | 議会会議録

令和３年度　各会計決算審査を特別委員会に付託

令和３年度各会計歳入歳出決算の認定は、決算審査特別委員会を設置し決算審査を付託しました。同特別委員会の委員長に山本賢一議員、副委員長に大坪正明議員が互選され、10月13日と14日の２日間、各所管課から決算内容等を聴取し、慎重な審査が行われました。

▼認定第１号　令和３年度美瑛町一般会計歳入歳出決算の認定
▼認定第２号　令和３年度美瑛町老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算の認定
▼認定第３号　令和３年度美瑛町農業研修施設事業特別会計歳入歳出決算の認定
▼認定第４号　令和３年度美瑛町水力発電事業特別会計歳入歳出決算の認定
▼認定第５号　令和３年度美瑛町白金泉源事業特別会計歳入歳出決算の認定
▼認定第６号　令和３年度美瑛町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
▼認定第７号　令和３年度美瑛町水道事業会計決算の認定
▼認定第８号　令和３年度美瑛町立病院事業会計決算の認定

意見書

次の意見書が原案のとおり可決され、衆参両議長・内閣総理大臣等、各関係機関に提出されました。

意見書案第７号　**国土強靭化に資する道路の整備等に関する意見書**

国土の根幹をなす高規格道路から国民の日常生活に最も密着した市町村道に至る道路ネットワークの計画的・体系的整備の必要性や、ポストコロナを見据えた物流・観光をはじめとする経済回復に資する道路の重要性などを踏まえ、より一層の道路整備の推進や維持管理の充実・強化について求めるものです。

トマトジュースを贈呈いただきました

決算審査特別委員会最終日の10月14日、デイセンターすずらんの利用者の方等が議会を訪問し、農業担い手研修センター「美進(びしん)」の圃場で栽培したトマトを加工したトマトジュース及びかぼちゃを議会議員へ贈呈いただきました。

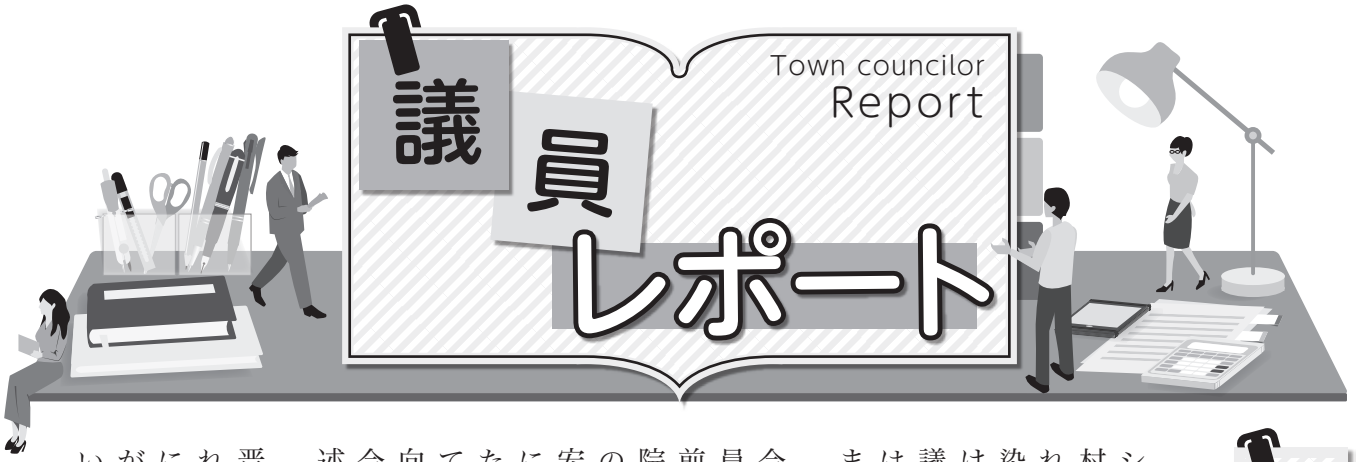
農福連携事業による取組で、議会議員への贈呈は前年度のホウレンソウに続き２度目。大切に育てていただいたことへ感謝しながら、美味しくいただきました。

議会を代表し議長と副議長が受け取りました

気になる議員の一般質問を素早くチェック!!

各議員名の下のQRコードをスマートフォン等のカメラで読み取ると、YouTube「美瑛町議会チャンネル」に投稿されている議員別の一般質問の視聴ができます。
※令和４年第５回定例会分から議員別の視聴が可能です。
議会中継全体の視聴は１１ページをご覧ください。

ここを読み取ってくださいね



議会議員研修会

7月6日札幌コンベンションセンターで北海道町村議会議員研修会が開催されました。今回はコロナ感染防止対策として2部に分けて道内各地から町村議会議員が集まり、美瑛町からは第一部に全議員が参加しました。

3年ぶりの開催となった今回の研修では、参議院議員通常選挙の投開票日を直前に控えたこともあり、「参院選最終情勢分析と選挙後の政局展望」と題して泉宏氏（政治ジャーナリスト）による講演が行われました。永田町で今、何が起こっているのか、選挙直前の動向と過去の選挙の裏事情と今後の政治日程予測などが述べられました。

この研修の2日後、安倍晋三元総理大臣が銃撃され、世界中のニュース速報にもなるという歴史的事件が起こるとは想像もつかない一日となりました。

町内所管事務調査
総務文教常任委員会

7月15日に総務文教常任委員会所管事務調査が開催されました。調査の前に委員会室を会場に、担当課から、「不登校児童・生徒の支援について」「スマート行政推進事業について」の2つの事業概要について説明を受けました。

その後、行政手続きのスマート化が進められている、役場庁舎一階の総合窓口（ワンストップ窓口）をはじめ、旧教員住宅を改修した不登校児童・生徒のための支援施設、旧五稜小学校を活用したリサイクルショップ（Antaa Lab アンタラボ）、旧四季の交流館をリニューアルした藍染のテーマパーク（藍染結の杜）を福祉バスで移動し、現地視察を行いました。

旧五稜小学校と旧四季の交流館は、目的を終え維持管理が課題となっていた行政財産を、民間との連携により事業化したものです。

いずれの事業も町の大切な事業であり、参加した議員からも、担当者や企業の役職員の方に数多くの質問が出され、事業についての理解を深めることができました。

藍染結の杜（旧四季の交流館）では藍染を体験し
オリジナルのデザインが短時間で完成

旧五稜小学校を活用し、古材や家具、インテリア業界の
資材循環に取り組んでいる（Antaa Labアンタラボ）

産業経済常任委員会

7月13日に、町内所管事務調査を行いました。

今年1月28日に新規認定された「十勝岳ジオパーク」を推進するための事業計画、拠点（十勝岳砂防情報センター）整備・活用計画についての説明を受け、今後、新規事業として、「ジオツーリズム」の推進、体験・学習機能の整備など多岐にわたる事業展開を行うとの説明を受けました。

パークゴルフ場管理運営事業については、丸山橋、新区画、みどり橋のパークゴルフ場の利用状況や維持管理の状況の説明を受け現地での確認も行いました。昨年は、干ばつの影響で芝が枯れた部分もありましたが、回復し良好な状況で、今後も町民の皆さんの健康増進や交流の場となる重要な施設であることを確認しました。

小麦推進事業では、「美瑛小麦」のブランド化に向けての取組で、美瑛小麦フォーラムの開催やロゴの作成、美瑛小麦スタンプラリーの実施やSNS等での情報発信などの様々な取組から認知度向上を目指し「地理的表示法（GI）」認定に向け協議会を中心に事業推進しており、更なるブランド化が期待されるところです。

また、生産された小麦の乾燥、調製を行う「穀類乾燥貯蔵施設」稼働実績等の説明も受けました。現地視察では、施設担当者から後継者や人手不足などから栽培面積の増加や栽培努力により取扱数量が年々増加しており施設運営が厳しい状況にあることなどの説明を受けました。

穀類乾燥貯蔵施設の稼働実績について説明を受ける

利用状況及び維持管理状況について確認
写真右：みどり橋パークゴルフ場
写真左：丸山橋パークゴルフ場

議員研究会

9月6日に旭川開発建設部の担当職員を講師に招き、「十勝岳直轄火山砂防事業について」をテーマに、議員研究会（概要説明と砂防施設の視察）が開催されました。

昭和63年に着手された直轄火山砂防事業は、活火山である十勝岳の火山噴火を起因とする、融雪型火山泥流から近隣住民の生命財産を守るために、現在も工事が進められています。

十勝岳は、30年から40年周期で噴火を繰り返しており、前回の噴火（昭和63年12月）から、34年が経過しています。

講師の説明では、現時点での整備率は、計画規模相当の火山泥流に対しては不足しており、十勝岳の火山噴火によって、土砂災害被害が発生する危険性が高い状態にあるようです。また、流木対策についても検討が進められ、令和4年度から直轄砂防と治山事業が連携して効率的に流木対策を実施する全国初のモデル地区の指定を受けたことについても説明を受けました。

十勝岳と共生する美瑛町の災害への備えとして、あらためて国の砂防事業の重要性について認識することができました。

改築工事予定の美瑛川第2号えん堤

議会日誌

8月

3日・令和4年度北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会総会（於札幌市／副議長出席）
5日・東京都北区議会行政視察（議長出席）
19日・上川中央部市・町議会議長会定例会議（於東神楽町／議長出席）
22日・道北地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会役員会（於旭川市／副議長出席）
30日・議会運営委員会
31日・三重県議会行政視察（議長出席）

9月

1日・持続可能な上川の農業と、道北が果たす防衛体制の在り方を学ぶセミナー及び要望懇談会（於旭川市／議長出席）
・今津ひろふみ連合後援会設立総会（議長出席）
2日・参議院議員鈴木宗男国政報告会（於旭川市／議長出席）
6日・全員協議会
・議員協議会
・議会運営委員会
・議員研究会
12日・第5回定例会（1日目）
・議会報特別委員会
13日・第5回定例会（2日目）
・議員協議会
15日・第71回市街地区敬老会（議長ほか議員出席）
・第51回美瑛町開拓記念式典（議長ほか議員出席）
23日・第13回丘のまちびえいセンチュリーライド大会（議長ほか議員出席）

10月

4日・埼玉県本庄市議会行政視察（議長出席）
5日・鳥取県大山町議会行政視察（議長出席）
11日・議会報特別委員会
12日・道北地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会令和4年度総会（於旭川市／副議長出席）
13日・決算審査特別委員会（1日目）
・議会運営委員会
14日・決算審査特別委員会（2日目）
・議員協議会
19日・上川管内町村議会議長研修会～20日（於中富良野町／議長出席）
20日・青森県五戸町議会行政視察（副議長出席）
・沖縄県嘉手納町議会行政視察（議長出席）
26日・上川管内町村議会議員研修会（於旭川市／議長ほか議員出席）
31日・常任委員会合同所管事務調査

編集後記

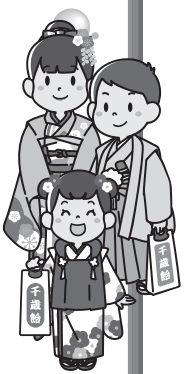
コロナ感染者が収まることがないまま、今年の夏が終わりました。町では、感染対策をしながらですが、夏祭りやイベントが開催されたことで季節感を味わうことができ、想い出作りもできたことだと思います。ご協力をいただいた皆様には感謝申し上げたいと思います。

町内では、子供たちが元気に遊べるよう、公園が次々と整備されています。出来るだけ外で遊び、少しくらい擦り剥いたり、泣いたりしながらいろいろな体験を重ねて大きくなってもらいたいと願いつつ、その様子をこっそり眺め、元気な声を聞くのが私の幸せな時間です。

子育てはトラブル続きで大変ですが、大人になった時に子供の頃を振り返ると話題は尽きず楽しいものです。たくさんの経験を積み重ねて、辛いことにも負けない美瑛っ子がたくさん育っていくことができるよう、見守っていきたいと思います。

第5回定例会では6名の一般質問がありました。紙面では要約されているため、伝えきれない部分もありましたが、今回から議員別の動画配信を始めました。ぜひ各議員の動画配信をご覧いただきたいと思います。

（坂田記）



議会報特別委員会

委員長　増山和則
副委員長　山本賢一
委員　坂田美香
委員　青田知史

〒071-0292　北海道上川郡美瑛町本町4丁目6番1号
（0166）92-4472